

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 4月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年4月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年6月23日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定(1)		連続測定(1)		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者		焼却炉運転委託業者		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下	
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	50 ppm以下	
03. 塩化水素	ppm	30未満	休炉中	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	60		58	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	6		6	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成20年4月23日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	7.6	8.2	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	0.8	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	5	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.8	11	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	5,400	780	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.1	5.4	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.50	0.74	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	38	37	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

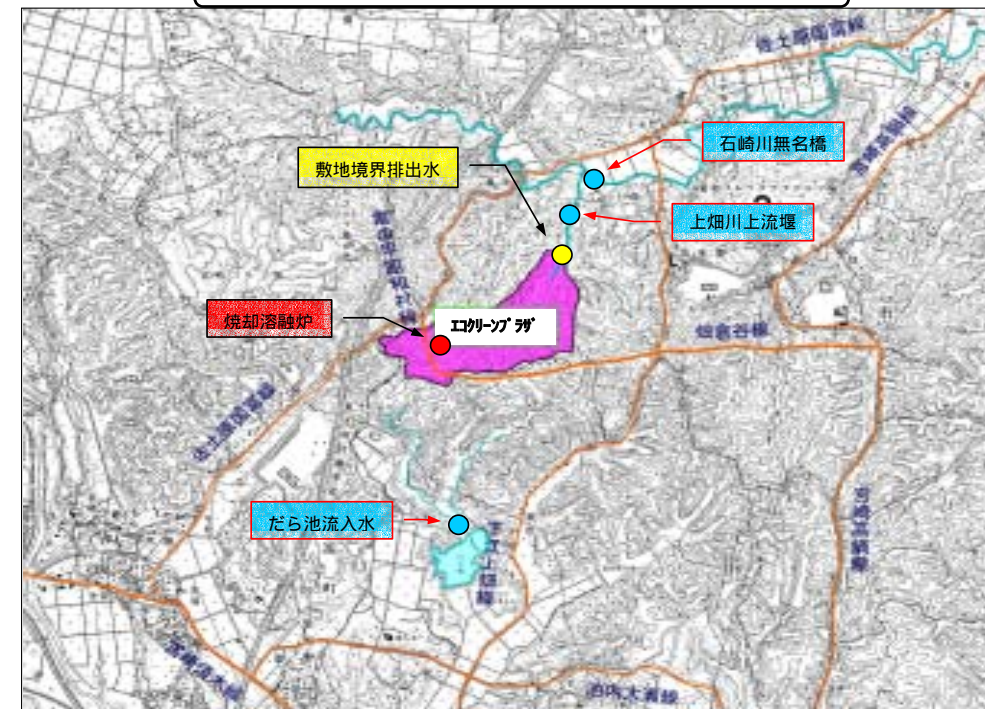
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成20年4月23日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	3.3	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	4	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.3	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.58	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	41	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 5月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年5月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年7月17日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定(1)	同左	同左		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	同左	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	58	20	54	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	6	10	8	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成20年5月13日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.6	7.9	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.1	1.2	0.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	3	3	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.6	8.6	9.3	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	2,400	2,200	2,300	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.2	3.4	5.5	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.55	1.7	0.80	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	36	21	31	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

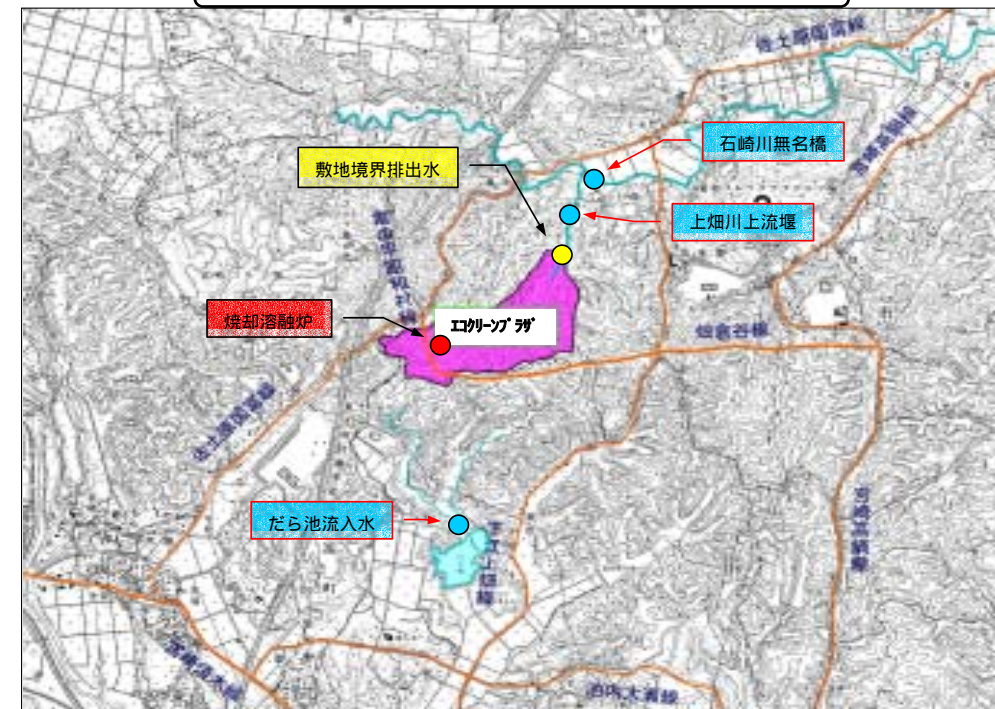
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成20年5月13日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.6	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	3	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.1	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.74	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	41	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について(平成20年 6月調査分)

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年5,6月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年8月22日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日		平成20年6月2日	同左	
試料採取・分析者		宮崎県環境科学協会	同左	
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	休炉	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	51	47	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	5	2	30 ppm以下
06. ダイオキシン類 ²	ng-TEQ/m ³ N	0.0020	0.00013	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1:連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。
2:ダイオキシン類の測定は、2号炉(6月4日),3号炉(6月5日)について実施(静環検査センター)。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成20年5月26日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.6	7.8	6.5以上8.5以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	0.6	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	5	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.2	8.0	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	4,600	4,900	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.2	3.9	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.51	1.4	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	32	19	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類 ⁷	pg-TEQ/L	0.031	0.14	1 pg-TEQ/L以下

3:検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
4:検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目
5:検査項目は、鉱物油、動植物油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目
6:検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目
7:公共用水域の水質と排水のダイオキシン類の検査は6月5日(だら池のみ6月9日)に実施(静環検査センター)。

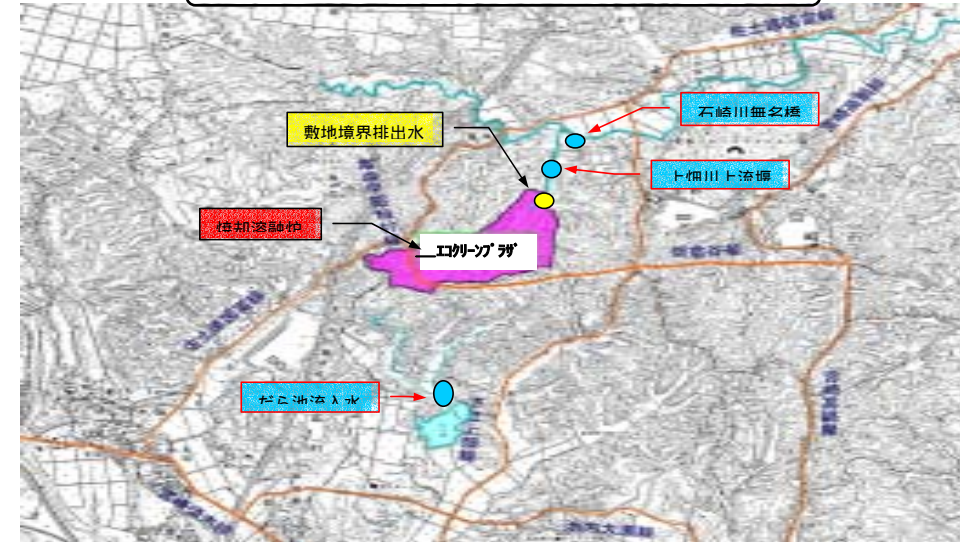
【今月の調査結果】

焼却溶融施設のばい煙調査結果 : ダイオキシン類をはじめ、その他の項目も評価基準値以内であり、これまでの測定結果と大きな変化はありませんでした。
公共用水域の水質調査結果 : 水素イオン濃度からダイオキシン類の測定まで、38項目の全てで評価基準を満足していました。

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成20年5月26日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.9	5.8以上8.6以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	2.1	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.1	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.48	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	36	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	評価基準値内	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類 ⁷	pg-TEQ/L	0.0014	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。

防災調整池排水の調査結果 : 水素イオン濃度からダイオキシン類の測定まで、44項目の全てで評価基準を満足していました。

今回(6月)の調査は、宮崎県、宮崎市の指導による周辺環境調査として実施しました。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 7月調査分）

（財）宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年7月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年9月29日
宮崎県環境整備公社

今月の調査結果

焼却溶融施設のばい煙調査結果 : ダイオキシン類をはじめ、その他の項目も評価基準値以内であり、これまでの測定結果と大きな変化はありませんでした。

公共用水域の水質調査結果 : 各調査地点とも、大腸菌群数が評価基準を超えています。しかし、その他の調査項目は評価基準を満足していました。

（大腸菌群数について）
防災調整池排水では、大腸菌群数が検出されていないこと、また、同日に測定している、上畑川合流地点上流の龜の甲橋についても、大腸菌群数(49,000MPN/100ml)が基準値を超えていることから、処分場からの影響ではないと考えられます。

防災調整池排水の調査結果 : 調査した全ての項目で評価基準を満足していました。

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成20年7月22日	平成20年7月3日	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	宮崎県環境科学協会	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	44	36	45	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	3	1	1	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0018 ²	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

2: ダイオキシン類の測定は、7月29日に実施(試料採取・分析(株)静環検査センター)。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成20年7月17日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.7	7.9	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.7	0.6	0.8	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1	3	3	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	6.1	8.2	10	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	35,000	92,000	17,000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.2	2.5	6.3	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.87	3.0	0.77	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	36	18	42	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類 ⁷	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

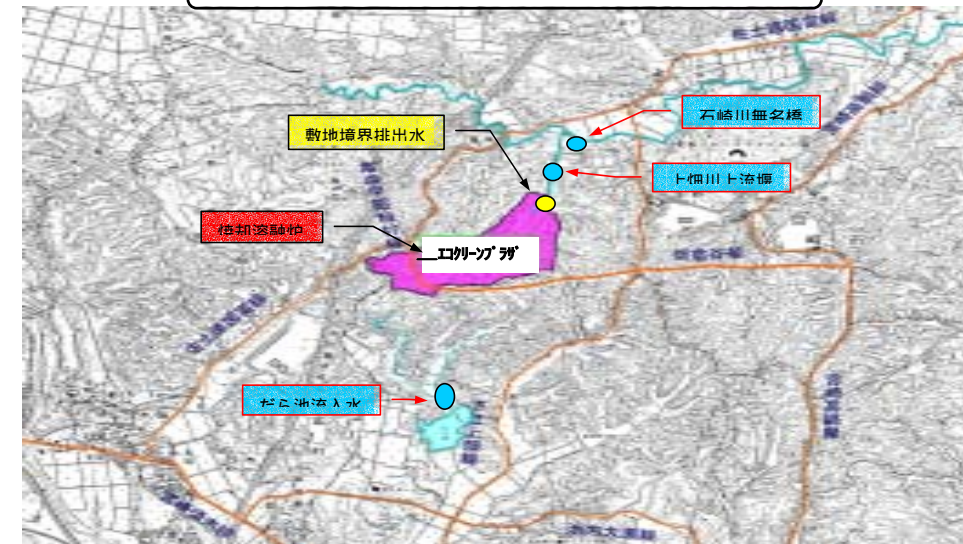
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成20年7月17日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	2.1	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	11	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.7	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	1.0	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	42	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類 ⁷	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いております。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 8月調査分）

（財）宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年8月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年10月20日
宮崎県環境整備公社

今月の調査結果

焼却溶融施設のばい煙調査結果 : 各検査項目とも大きな変化は無く、評価基準を満足していました。

公共用水域の水質調査結果 : 各調査地点とも、大腸菌群数が評価基準を超えています。また、だら池流入水については、生物化学的酸素要求量(BOD)測定値が7.0mg/Lと評価基準値(2mg/L)を超えており、浮遊物質(SS)が、25mg/Lと高い値でした。しかし、その他の項目については評価基準を満足していました。

(大腸菌群数について)
防災調整池排水では、大腸菌群数が検出されていないこと、また、同日に測定している、上畑川合流地点上流の龜の甲橋についても、大腸菌群数(35,000MPN/100ml)が基準値を超えていることから、処分場からの影響ではないと考えられます。

防災調整池排水の調査結果 : 調査した全ての項目で評価基準を満足していました。

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	平成20年8月21日	連続測定(1)		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	焼却炉運転委託業者		
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	休炉中
04. 窒素酸化物	ppm	50	56	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	3	7	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成20年8月19日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.5	7.7	8.3	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5	0.5未満	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1	2	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	6.0	7.8	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	7,000	35,000	49,000
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.2	2.5	18
07. 全窒素	mg/L	0.52	2.9	1.8
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	30	19	16
09. 透視度	cm	100以上	100以上	15
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない
38. ダイオキシン類 ⁷	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

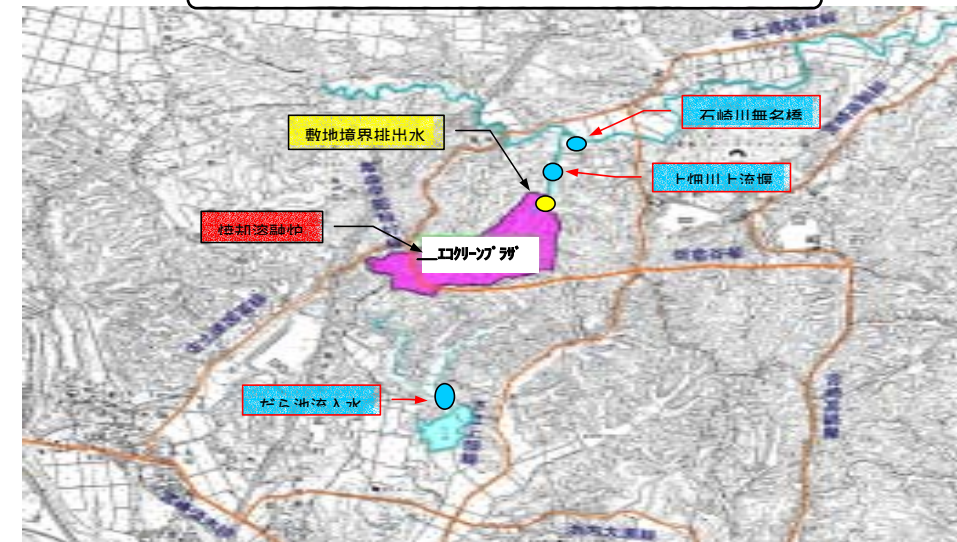
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成20年8月19日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	6.4	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	3	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.0	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.60	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	35	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類 ⁷	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いております。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について(平成20年 9月調査分)

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年9月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年11月27日
宮崎県環境整備公社

今月の調査結果

焼却溶融施設のばい煙調査結果 : 各検査項目とも大きな変化は無く、評価基準を下まわっています。

公共用水域の水質調査結果 : 上畑川上流堰、石崎川無名橋の2地点では、全ての項目で基準値を下まわっています。しかし、だら池流入水では、大腸菌群数(13000MPN/100ml)、生物化学的酸素要求量(5.9mg/L)、水素イオン濃度(pH値 8.8)が評価基準を上まわっています。

(だら池流入水について)
だら池に植物プランクトンが多量に発生しており、また池の水位が通常よりも高く、池の水が採水地点の沢に逆流していることから、だら池の富栄養化が評価基準を上まわった原因と考えられます。

防災調整池排水の調査結果 : 調査した全ての項目で評価基準を下まわっています。

9月調査分(今回)の排出源及び環境モニタリング調査は、雨天のため10月3日に調査を実施しています。

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	連続測定(1)	同左	同左	
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	同左	同左	
検査項目				
01. ばいじん	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	58	53	55	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	9	5	8	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成20年10月3日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.5	7.5	8.8	6.5以上8.5以下
02. 生物化学的酸素要求量	0.5未満	0.6	5.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	3	8	21	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	8.0	8.3	12	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	3,300	3,300	13,000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	3.2	2.1	10	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	0.58	3.5	1.5	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	19	16	10	(参考値 mS/m)
09. 透視度	100以上	75	23	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類 ⁷	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

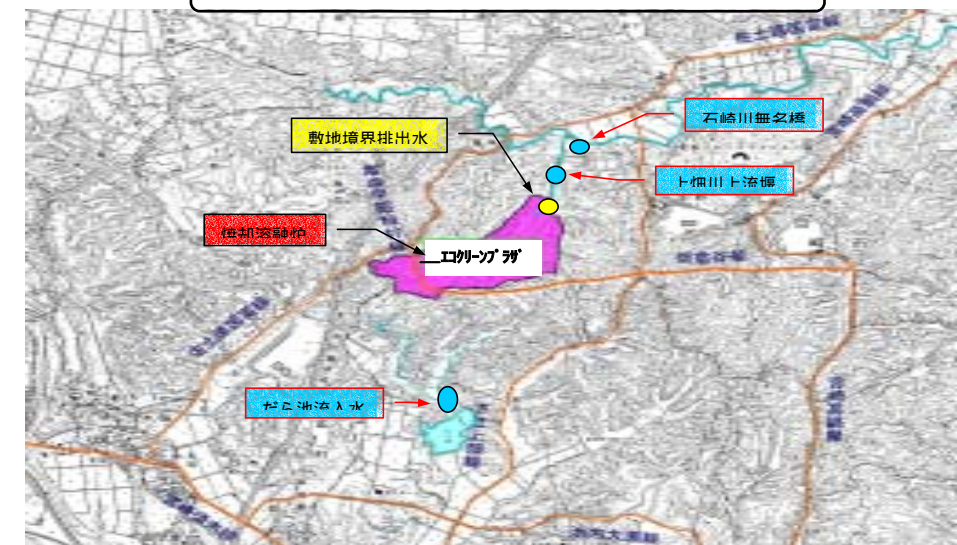
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成20年10月3日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	5.8以上8.6以下	
02. 生物化学的酸素要求量	0.5未満	160(日間平均120)mg/L以下	
03. 浮遊物質(SS)	5	200(日間平均150)mg/L以下	
04. 大腸菌群数	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下	
05. 化学的酸素要求量	3.8	(参考値 mg/L)	
06. 全窒素	0.63	(参考値 mg/L)	
07. 電気伝導度(EC)	22	(参考値 mS/m)	
08. 透視度	100以上	(参考値 cm)	
09~27. 鉱物油等(5)	測定月でない	項目により個別に設定	
28~43. PCB等(6)	測定月でない	項目により個別に設定	
44. ダイオキシン類 ⁷	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下	

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。